

2019年11月15日 第3314回例会

於： 横須賀商工会議所



<点鐘・開会> 12:30 田邊 会長

<斉唱> 「それこそロータリー」

<ゲスト紹介> *作家 石井 竜生 様
岩松 一弘 様

<ビジター紹介> *井出 智三 様 (横須賀西ロータリークラブ)

<会長報告> *台風15号及び台風19号による被災地への義捐金協力依頼

*地区大会表彰 長寿会員へ記念品贈呈

- ・吉井 貫 会員 ・高橋 秀行 会員 ・上林 茂 会員
- ・太田 陽三 会員 ・波島 顕明 会員 ・徳永 良輔 会員
- ・村瀬 賢正 会員

*ガバナー事務所より

- ・RID第2780地区ポリオ根絶チャリティコンサート「音楽の花束」について
2020年4月5日(日) 場所：茅ヶ崎市民文化会館 大ホール
13:45~16:00
- ・RID第2780地区ローターアクト第31回地区大会開催のご案内について
12月1日(日) 会場：アイクロス湘南6階E会議室
13:00~13:45 開会式・式典
13:45~14:00 休憩・会場設営
14:00~17:10 メインプログラム
藤崎一郎氏による卓話
17:20~17:30 閉会式
- ・2020-21年度青少年交換学生 選考試験結果について
当クラブ推薦：矢島海亜さんがドイツ派遣の地区候補者に決定
- ・10,000メートルプロムナードクリーン作戦日程変更のお知らせ
3月8日(日) ⇒ 15日(日)に変更

<幹事報告> *ガバナー月信No. 5

<出席報告> *出席委員会 長尾委員長より11月15日の出席報告

会員数	出席対象者数	出席数	欠席数	メイクアップ数	出席率
115名	102名	59名	43名	13名	70.59%

<ニコニコ報告>

- ・井出 智三 様 (横須賀西RC) お世話になります。
- ・三 役 作家 石井竜生様、岩松一弘様、ようこそいらっしゃいました。本日の卓話宜しくお願
い致します。
- ・瀬戸、中村 備、木村、小平、渡辺 圃、大竹、福西、佐久間、
江沢、勝間、長尾、澤田、松本 圃、若麻 績、鈴木 健、杵 渕、
丸山、猿丸、谷、八巻、徳永、北村、高橋 圃 各会員
作家 石井竜生様 本日はようこそお越し下さいました。卓話どうぞ宜しくお願い致します。
- ・前川、上林、新倉 健、波島、高橋 圃 各会員 横須賀西RC井出智三様、ようこそ横須賀RCへ。
どうぞ例会をお楽しみください。
- ・VTT委員会：飯塚カウンセラー、岡田委員長 VTTについて神戸にて開催のロータリー財団研究会
に本日、明日と行って参ります。しっかり報告して参ります。決して相部屋ではありません。

- ・ V T T委員会：山下副委員長 V T T医療チームに続き、田邊会長、藤村副会長とセブへ行って参ります。1泊3日というタイトなスケジュールですが楽しんで参ります。
- ・鈴木(幸)会員 2020年ハワイ国際大会、本日仮締め切りとなります。ご参加お待ちしております！アロハ！
- ・岡田、小林(一)、岡、谷 各会員 11月8日、田邊会長、三宅さんにも参加頂き、甲羅本店にて1番TMを盛大に開催しました。小沢会員、美味しい料理ありがとうございました。またチーズケーキ有難うございます。
- ・波島、福西、角井、根田、小山(陽) 各会員 4番テーブル11月12日リーダーが急用のため欠席で、小山サブマスターのもと会長、三宅さんのご出席を頂きお太幸さんで開催致しました。卓話でお話頂きたい様な、又、卓話ではちょっと！と云うような皆さまの体験談で楽しく、賑やかに懇親を深めたテーブルミーティングでした。お疲れさまでした。
- ・田中、八木、外木、飯塚、加藤、物井 各会員 11月12日、ダイニングおおしまにて8番テーブルミーティングが開催されました。飯塚テーブルマスター、松本好史サブマスター、ご紹介頂いた物井会員ありがとうございました。美味しい食事と楽しい時間を堪能しました。又、藤村副会長、御出席ありがとうございました。P.S. 飲み過ぎました。
- ・高橋(陽)、齋藤(陽) 両会員 三浦学苑軟式野球部、関東大会、夏・秋連覇！！創立90周年行事も無事終わりました。更に前へ！！
- ・梁井、小山(美) 両会員 宣言通り横浜マラソンに参加しました。たくさん応援にのせられて30km付近まで快走。その後突然失速し、5時間は切れず完走はしました。マラソンは過酷なスポーツですが完走後は何とも言えない達成感があります。皆様も挑戦してみたいかたがでしょうか。
- ・物井 会員 梁井会員の励ましと助言で目の前が明るくなりました。有難うございました。
- ・田邊、岡 両会員 写真をいただいて
- ・兼城 会員 入会月祝いとして

<卓話> 「縄文の平和は7万年前の火山爆発が生んだ」

作家 石井竜生様

【卓話者紹介】

昭和15(1940)年 横須賀市鴨居生まれ

栄光学園7期入学・8期卒業

早稲田大学法学部卒・同大学院修士課程修了

「うたでなや」で、昭和42年度NHKテレビドラマ脚本募集に入選・日本放送作家協会新人賞受賞
井原まなみ氏との夫婦合作「アルハンブラの思い出」で、第15回「オール讀賣」推理小説新人賞受賞
井原まなみ氏との夫婦合作「見返り美人を消せ」で、第5回横溝正史賞受賞
東京朝日新聞創刊百周年記念「私の東京改革論」で「校舎利用の防災計画」が準入選
その他「東京は消失する」、「警察署長」シリーズ、「壁のない密室」、「先生の集団逃亡が始まった」等多数



こんにちは。石井竜生です。私は鴨居で生まれ、29歳まで本拠地を鴨居に置いておりました。栄光学園には7期入学で、学園在学中に人って何だろうと考え始め、人類史をさかのぼり、高2の時に“行方不明のオレ”という詩を作って学校の機関誌に投稿しました。そこで今日は、第1部として“縄文の平和は7万年前の火山爆発が生んだ”と題し、ホモ・サピエンスとは何か、それから、縄文時代についてお話したいと思います。それから第2部としてギターを弾きます。

<第1部>

人類は枝分かれし、ホモ・サピエンス（知恵ある人間）が約20万年前にアフリカ南部で生まれ、最大で20万人まで増加しました。ところが、7万4千年前のインドネシアのトバ火山の大噴火で地球は5年にわたり噴煙に覆われ、寒冷化により、人類は1万人にまで激減します。その後、5～6万年前に勇敢な2千人ほどがシナイ半島に移動、さらにインド、インドネシアへ到達します。オーストラリアまで移動したのがアボリジニです。一方、北極海に沿ってシベリアに到達したモンゴル系の人たちは、1万8千年前にベーリング海峡を渡り、カナダに入り、更に南米へと広がりました。日本列島には、3万年前に樺太から南下したり、インドネシアから黒潮を利用してたどり着き、縄文人の祖先となります。これらの人類の移動は、ヒトの細胞に1兆個も並んでいると言われる遺伝子の解析でわかったことです。

このように、アフリカを起点として世界中に人類は移動しました。日本人には中国人や韓国人の血は交じっていないという人がいますが、約7万年前には人類はアフリカに1万人しかいなかったわけで、大坂なおみ、サニーブラウン、八村塁、大谷翔平は親戚か？と言われると、その通り、ということになります。元をたどれば皆親戚だったのです。肌の色の違いは、熱い地域でメラニン色素が必要だったり、北欧で太陽の日差しが弱い等、気候や環境に適用した結果です。

ここで、コロンブスのアメリカ大陸発見後まで歴史をポンと飛ばしますと、アメリカを名乗るヨーロッパ人はキリスト教流布を名目に北米の先住民を駆逐し西海岸まで到達、太平洋の対岸である「ハポン」（日本）にも目を向け、1853年にペリーが来航したのです。アメリカは植民地を求め、5万年前からの大移動をなおも続けていました。

これに対し、日本はどうだったのでしょうか？近年、世界の考古学者が注目し、驚嘆と称賛の声が広がっているのが、16,500年前から弥生に至るまでの時代の遺骨7,000体のうち殺害死体が20体しかない日本列島の「和」の文化です。日本列島ではなぜ殺人事件が起きなかったのでしょうか？

①日本には戦闘の嫌いな人が集まってきたと思われまます。それが遺伝子として我々の中に残っていました。これは祖先が象やキリンやライオンとともに生活していたことを示す民謡が残っているシベリアのオイミヤンコ村と同じです。縄文人は、三内丸山遺跡にみられるように、野菜を育て、木の実を収穫でき、動物の狩りもできる雑木林文化を持ち、自給自足が営めることから他の民族を襲う必要もありませんでした。

②縄文土器はメソポタミアとともに世界で最も古く、16,500年前のものが発見されています。このような古い時代から土器を使って柔らかくて美味しいシチューを食べることができたと考えられ、当時の人類の平均寿命（男29歳、女24歳）よりも長寿であったのではないかと考えられます。おじいちゃん、おばあちゃんがシチューを作って孫の面倒を見たりしていたのだと思います。私はこの素晴らしい文化について、能登半島の漆産業の和島屋本店の社長と“福祉1万年の歴史”という造語を作りました。

③縄文人は言葉を持っていましたが、文字は支配の道具になると考えて使いませんでした。

以上より、縄文人は、人とは何かということを考えていたから戦闘が嫌いになったのだと思います。つまり、縄文人は、「和」とは何か（一方が何かを語り掛ける、それに対して語り返すことで、上から全部抑え込むことではない）や、人間は自分の身が一番かわいい生き物なので、そこでいかに他人と調和できるかが重要だとわかっていたのだと思います。これはお釈迦様の“世界のどこへでも自分の思いは自由に行くことができる、されど自己より愛しいものを見つけることはできない、されば、自分を大事にするものは他人を害するなかれ”や、聖徳太子の“和を持って尊しとなし”と同じであり、縄文人は、思いやり、つまり、限りなく相手の立場に立って物を考えることを理解していたのでしょう。これが結論です。

あとは皆さんそれぞれの人生の宿題です。どこまで相手の立場を認められるかが重要です。

<第2部>

私の作った詩を大学時代にフォークソングにしましたが人前で歌ったことはありません。しかし、これは横須賀で生まれた歌なのだから今日は歌います。横須賀が生んだ人類の歌です。

ボクと君と — 地図にない国境

作詞作曲 石井竜生（1964年5月）

① ボクのおやじさんは日本の生まれ
おやじさんのおやじさんも日本の生まれ
先祖代々 日本の生まれ
海で働き 生きてきた

（嘆く）嗚呼・・・ああ・・・アア・・・ああ言葉
肌の色 地図にない国境

② 君のおやじさんは異国の生まれ
おやじさんのおやじさんも異国の生まれ
先祖代々 異国の生まれ
土に汗して 生きてきた

⑤ 昔むかしと いってもわずか
数万数十万年前の
国 土地 人種の名などはむろん
必要な時代のみかし

③ ボクの祖先の若者たちは
石の矢尻で魚を突いて
恋する人の その目の前で
巧みな腕前 きそってた

⑥ 二人かそれとも数千人か
男と女はアフリカで生まれ
思い思いに約束の地を
探し求めて 旅に出た

④ 君の祖先の若者たちは
果実をひろい 獣を追って
愛する人と 地平の果てへ
沈む夕日を 見つめてた

⑦ 人それぞれに 生まれて育ち
会って別れて 泣いて笑って
短い生涯 人それぞれに
考え悩んで 消えてった

（嘆く）ああ言葉 肌の色 地図にない国境
地図にない国境

<閉会・点鐘> 13:30 田邊 会長

週報担当 梁井康市